

立命館經濟學

第二十卷 第五・六号

昭和四十七年二月

内 容

論 說

戦時賃銀統制に関する研究（その一）……………三 好 正 巳 1
——国家独占資本主義賃銀統制の必然性について——

現代巨大企業における
社会的労働過程のプロセス構造……………坂 本 和 一 41

研 究

関西地方在住の炭鉱離職者の就労と生活状態に関する
調査報告（続）……………戸 木 田 嘉 久，川 端 久 夫 106

資 料

独占資本主義確立過程の工業構成（その一）……………伊 藤 武 夫 156
——『工場統計表』からみた「大正期」民営工業の発達趨勢——

書 評

中国官僚独占資本主義の本質問題について……………松 野 昭 二 夫 199
芝 池 靖 夫

共同研究室……………221

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

立命館経済学 第二十卷・第三号

論説

国家・外国貿易と再生産……………建林正喜

——国家独占資本主義分析のための準備ノート——

経済地理学方法論における

「経済地域」について……………杉野 罔 明

独占段階における独自の・資本制的

生産様式の形成(統)……………坂本和一

——八幡製鉄所を事例とする具体的分析(三)——

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十卷・第四号

論説

独占利潤の法則と世界市場恐慌……………建林正喜

独占段階における独自の・

資本制的生産様式の形成(統)……………坂本和一

——八幡製鉄所を事例とする具体的分析(四)——

研究ノート

県民所得統計の発展と

県民所得標準方式(統)……………後藤文治

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会